

「藤田啓介博士 七栗記念室」が開室しました。

本学創設者藤田啓介博士（1925-1995）は生前、理事長・総長として藤田学園づくりを推進するとともに、1973年七栗校地に「生薬研究塾」を開設し、生化学者・実験病理学者として制癌研究、精神疾患研究、アロエ研究など医科学研究に取り組みました。生薬研究塾では若手教員や卒論学生等を多数受け入れ、重要な教育の場となっていました。

藤田博士の没後、生薬研究塾は1998年に藤田記念生薬研究所に改組、2004年には藤田記念七栗研究所に改称されました。2016年4月に臨床・基礎の連携を高めるために病院施設内に移転しました。そしてこれを機に研究所内に藤田博士の偉業・遺徳を偲び、足跡や研究業績を閲覧できる「藤田啓介博士 七栗記念室」が設置されました。



